

普及現地情報  
令和5年6月〇日  
一関農業改良普及センター  
記述者 岡村 森

## 第13回ライス・アート in ひらいずみの 田植えが開催されました！

5月27日、平泉町の高館橋近くのライス・アート圃場で田植えを行いました。この取り組みは、「農事組合法人アグリ平泉」が消費者交流と農業体験学習の場を創出するために平成21年から実施しています。令和2、3年は開催中止したものの令和4年から再開し令和5年で13回目を迎えました。

また、神奈川県相模原市立緑が丘中学校の生徒も参加し、裸足で泥まみれになりながらも楽しそうに田植えをしました。

令和5年のデザインは江戸時代の紀行家「菅江真澄」と令和5年1月に日本農業遺産に登録された「東稲山麓地域」、そして「平泉」をモチーフとしています（図参照）。

同法人の石川文士良代表理事は「イネが色づき、デザインがはっきりするのは夏ごろ。地域の人だけでなく、緑が丘中学校の生徒もぜひ見に来てほしい」と呼び掛けていました。

普及センターは今後もこのような地域振興イベント等の開催を支援していきたいと思えます。



写真：裸足で田植えをする生徒



図：本年度のデザイン